

No.34 スティーブン・アントナコス 「Tria-3」

Stephen Antonakos

北川フラムさんのコラム / 立川市市報記事より

作品を作る前のアントナコスのデッサンはとても美しい。ネオンの光が壁に映っている様子などは、それ自体が美しい絵画作品そのものだ。

もともとアントナコスは平面で仕事をしていた。そのうちネオンのもつ美しさに魅せられて、平面の作品にもネオンを使うようになり、それが屋外にも展開するようになった。

ファーレ立川では壁に三面、ビルとビルをつなぐパサージュルーフと都合4か所でダイナミックな光の作品を制作している。

映画館と駐車場の壁はランドマークとして、もうひとつは暗い場面に表情を与えるものとして、パサージュルーフはビルとビルをつなぐ柔らかな^{ワタ}桁として、実に見事に機能し、このまちの表情を作っている。